

2018. 2. 17

原 弘之輔 1

はじめに

昭和 20 年終戦「国破れて山河あり」焦土の中から婦人たちは力強き

抜いた 着るものがない生地もない今更着物には戻れない動きやすい活動的
衣服がどうしても必要 男性は少ない 建設現場や工場で婦人達は必死に働いた

戦時中政府は標準服として衣服を指定した 男「国民服」 女「婦人標準服」(洋服型 和服型 活動衣) の 3 タイプ モンペは決戦服として家庭婦人の義務化された ズボン工場で働く挺身隊の女学生が着用 戦後アメリカ文化は憧れの的だった しかし洋服は売ってない 作るしかない 洋裁ができる人もいない 家庭内職が一家の生活を支えた

洋装文化と日本のファッション

いまでは子供から老人まで日本人の殆どが洋服を着ています 日本人の洋装がほぼ完全に洋服に変わったのは昭和 20 年以降です 戦前でも都市の男性 学制教師タイピストなど職業婦人は洋装姿も見られた 夏の間アップパと言われた木綿の簡単なワンピースが大阪で流行

女性の圧倒的多数は和服 外では洋装の男性も家に帰れば着物に着替え和服が主流 お茶お花邦楽結婚式卒業式など非日常の洋服着用戦後 30 年で一国の衣服はほぼ洋装になり衣服革命が進んだ

アメリカ文化への憧れは日本人の洋装化を一気に進めた 専業主婦は洗濯炊事子供も多く家を空けられない家でできる洋裁には家庭内職がピッタリ 一家を支えできれば洋裁で稼ぎたい 洋裁教室ブームミシン生産の拡大昭和 30 年には 75%普及 洋裁ブームで洋装化は一気に進んだ

夜更けまで必死にミシンを踏む家庭婦人 タバコ屋の傍ら自転車でラッパを吹いて豆腐を売り歩いた

その合間に内職の洋裁で必死に洋服を作った

ダサくても地味ながら地を這うように自分たちで手作りの洋装に慣れて来た暮らしの深いところで洋装化が進み根付いた

近代化のスローガンでもパリモードへの憧れでもない厳しい生活の中でひそかに着実に衣服革命が進んだ **昭和30年代**にはアメリカから既製服が流れ込みわが国でも合成繊維の発展でアパレル産業が台頭

昭和50年代は安価な既製服の大量生産 和服の時代は終わり洋装化が一般化した

参考 昭和 22 年銀行員給料 220 円 ミシン家庭補助 400 円

昭和 27 年銀行員 6.000 円 ミシン補助 5.000 円

昭和 25 年年賀はがき特等 ジューキミシン 1 等純毛洋服生地

昭和 30 年 嫁入り道具 ミシン 洋服箆笥 3 面鏡 が 3 種の神器

夜店の街頭販売で ミシン自転車洋服どれも 2 万円

明治のファッション 江戸からの和服が明治時代にも引き継がれ和服が主流
軍服 巡査 郵便配達 鉄道員 車掌 消防士 牛乳配達などが制服着用

明治 16 年外国使節招待で「鹿鳴館時代」和洋折衷のファッション

女はバックスルスタイル 男はフロックコート 女学校の海老茶袴

大学生はトンビが流行 ハイカラバンカラスタイルが世相風俗

欧米のボデーライン造形と日本のラインを隠す着物文化とでは基本が異なります

大正のファッション 大正デモクラシーのなか生活改善運動が進み

洋装化は職業服から進みバスガールデパートガール電話交換手カフェ女給が人気 モボモガスタイルが銀座を闊歩 大阪ではアッパッパと呼ばれる夏の単服が表れておばさんに人気若い女性もフラッパースタイルと言われ洋装化が進む 呉服屋から洋服屋テイラーが表れた まだ女性は 1 パーセント 男性は 70%が洋装となった

昭和 20 年—30 年 厚生服全盛 ボールドルックのアメリカンモードからパリモードへ 昭和 22 年デオールのニュールックがアメリカヴォーグ誌で大反響デオールのラインの時代へクチュールファッションとヤングファッションが対立

3完

昭和 28 年白黒テレビ放映 29 年電化元年 給与 8.000 円時代 噴流式洗濯機
28.500 円 冷蔵庫 80.000 円でも売れた

花開く洋裁教室学校 外人講師による教養としての洋裁教育が始まり

アメリカシンガーミシンが販路拡大のため裁縫女学校を開く婦人雑誌
ラジオの洋裁講座が人気 **昭和 22 年**全国で 400 学校 生徒 5 万人昭和 30 年
には 2700 学校生徒数 50 万人 昭和 10 年文化服装学院女子教育で我が国第一
大正 15 年ドレスメーカー女学院開校 戦時中は杉野女学院
昭和 17 年桑沢服装工房開店 機能的働き着ユニホーム研究全国の都市農漁村
工場で無料服装相談 家庭婦人の内職支援 経済的自立を応援した

昭和 23 年「暮らしの手帳」の花森安治は和服を仕立て直した型紙の要らない
直線裁ちを推奨 簡単にできる洋装化を進めた日本人の体形 生活様式を毎号
解説した 桑沢洋子に共鳴してました

戦後の衣服革命 新憲法民法 男女平等家父長的家族制度など制度上の変革
にっ世の中は大きく変わった 工業産業の大規模な近代化で物質上の変革の中
でコモーションイズムに翻弄されてきた 洋服は西欧モデルにパリモード志向が
強く日本の伝統歴史生活文化が薄くなってしまった日本人を美しく見せる衣服
はいまだ創造されていない **京都一柵**の綿麻絹毛 4 種の和のスタイル提案は注
目されます

衣服とは 実用性 社会性 装飾性で生活に存在します